

# 表

## 概要

表を作る練習です。

## 1 本文

表を作るには、`tabular` 環境を使います。`tabular` 環境全体を `table` 環境に入れます。

```
\begin{table}[位置] % 「位置」は、h、t、b、p で指定。
\caption{表の説明}
\centering
\begin{tabular}{列数と寄せ方} % 「列数と寄せ方」は、例えば {lcr} と英字を3つ書くと3列。
% そして、l は左寄せ (left)、c は中央寄せ (center)、r は右寄せ。(right)

    項目 & 項目 & … & \\ % & は、列の区切り。 空白に、全角空白を使わないこと！！！！
    項目 & 項目 & … & \\
    :
    項目 & 項目 & … &
\end{tabular}
\end{table}
```

まず、表の形を作ってみよう。

表1 とりあえず、表

品目	単価 (円)	個数
リンゴ	100	5
みかん	50	10

次に、罫線を入れてみよう。

次は、縦の罫線も入れてみよう。

表 2 罫線付きの表

品目	単価 (円)	個数
リンゴ	100	5
みかん	50	10

表 3 縦横罫線付きの表

品目	単価 (円)	個数
リンゴ	100	5
みかん	50	10

一時的にいくつかの列をまとめて 1 列のように扱うには `\multicolumn` コマンドを使います。使い方は、`\multicolumn{まとめる列数}{列の指定}{中身}` です。

表 4 列をまとめる

請求書		
品名	数量	金額
<i>The T<sub>E</sub>Xbook</i>	1	\$30.00
<i>T<sub>E</sub>X: The Program</i>	1	\$43.00

罫線を入れよう。 `\hline` と | です。

表 5 列をまとめる

請求書		
品名	数量	金額
<i>The T<sub>E</sub>Xbook</i>	1	\$30.00
<i>T<sub>E</sub>X: The Program</i>	1	\$43.00

表の行間隔を自分で調整することができます。方法は、改行の `\` の後ろに `[広げるポイント数 pt]` と書きます。例えば、`\[-4pt]` と書くと、4 ポイント分だけ行間が狭くなります (マイナス 4pt)。

表 6 列をまとめる

請求書		
品名	数量	金額
<i>The T<sub>E</sub>Xbook</i>	1	\$30.00
<i>T<sub>E</sub>X: The Program</i>	1	\$43.00

上下の横線を太くする。欧米の表では、縦線を引かず、さらに、上下の横線を太くするのが普通。これをどうやるか、というと、`booktabs` というパッケージを使います (^^) プリアンブルに `\usepackage{booktabs}`

と書き、表で線を引くところで、上の線は`\toprule`、下の線では`\bottomrule`と書きます。表の中の細い線は`\midrule`だよ。

表7 booktabs による罫線

品名	単価 (円)	個数
リンゴ	100	5
みかん	50	10

今度は、表に色をつけてみようね。表に色を付けるには、`colortbl` というパッケージを使います。そして、`\color[色]{明るさ}`とします。例えば、白に近いグレーにするなら、`\color[gray]{0.8}` とすればよいです。

第1の行
第2の行